

脳神経外科【Stage 1】

Stage1 について

1. 実習の基本方針（目的・到達目標）

講義で得た知識を実際の臨床の場で再認識、再構築することで、さらに深め、脳神経外科疾患の診断及び治療の考え方の基本を体得する。

2. 実習の方法（内容・行動指針）

最初のオリエンテーション後に、担当疾患と担当患者さんを決め、疾患の基礎を学び、1週目の終わりに学生間での疾患のプレゼンテーションを行い、相互質問で理解を深める。

患者さんを2週間担当することから、脳神経外科疾患について学んでいく。またその患者さんの担当医からの、マンツーマンの指導のもとに病棟での実習を行う。

最終日に受持患者さんの中から1例を選んでレポートにまとめ、発表する。

3. 実習上の注意事項

- 1) 服装は清潔にし、不快感を与えないものとする。
- 2) 患者さんには誠意をもって接する。知り得た情報は他言しない。
- 3) 患者さんの質問には自分の判断で答えない（主治医に連絡する）。
- 4) 社会人の基本として時間を厳守し、節度ある態度で臨む。

4. 「医学生の実習における医行為と水準」の例示

- 1) レベルⅠ：指導医の指導・監視の下で実施されるべき
病歴聴取・問診、簡単な器具を用いた神経学的検診
診療記録記載
清潔操作：ガウンテクニック、静脈採血、縫合・抜糸など
- 2) レベルⅡ：指導医の実施の介助・見学が推奨される
 - ① 動脈採血、皮内・皮下・筋肉・静脈注射 など
 - ② 腰椎穿刺、中心静脈カテーテル挿入など

5. 実習スケジュール

曜日	担当教員	実習内容（午前）	実習内容（午後）
第1 月	藤木 教授 秦 准教授 川崎 教員	オリエンテーション 病棟紹介・実習	病棟実習 ミニレクチャー（基礎編） ミニレクチャー（小児）
火	阿南 教員 森重 教員 大西 教員	手術見学・実習	手術見学・実習 ミニレクチャー（水頭症）
水	秦 准教授 阿南 教員 松田 教員	手術見学・実習	手術見学・実習 ミニレクチャー（機能）
木	藤木 教授 杉田 教員 久保 教員	病棟実習 （教授回診・血管撮影）	病棟実習 ミニレクチャー（外傷） 学外実習
金	阿南 教員 杉田 教員 靱井 教員	手術見学・実習	手術見学・実習 疾患プレゼンテーション
第2 月	藤木 教授 川崎 教員 大西 教員	病棟実習 外来実習	病棟実習 ミニレクチャー（虚血性 脳血管障害）
火	森重 教員 靱井 教員 川崎 教員	手術見学・実習	手術見学・実習 ミニレクチャー（脳腫瘍）
水	秦 准教授 杉田 教員 森重 教員	手術見学・実習 外来実習	手術見学・実習 ミニレクチャー（出血性 脳血管障害）
木	藤木 教授 杉田 教員 阿南 教員	病棟実習 （教授回診・血管撮影）	病棟実習 学外実習
金	藤木 教授 秦 准教授 靱井 教員	手術見学・実習	最終発表・総括

※ 集合時間・・・午前8時

※ 集合場所・・・病院2階 脳神経外科カンファレンスルーム

（大学病院外実習は別途指示）